

京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業で鉄道を高架化します。

【概要】

| | | |
|--|---|---|
| 【全体】 ○全体事業費約1067億円 ○全体延長L=約5.5km ○除却踏切数：21か所 | 【枚方市域】 ○事業延長L=約3.4km ○除却踏切数：15か所 【役割分担】 大阪府（事業主体・総合調整） 京阪（鉄道工事） 地元市（用地買収、環境側道など関連施設の整備） | 【寝屋川市域】 ○事業延長L=約2.1km ○除却踏切数：7か所 |
|--|---|---|

【事業スケジュール】

| | |
|----------------------|--------|
| 平成25年12月 （2013年度） | 事業認可 |
| 平成26年度～ （2014年度～） | 用地取得 |
| 令和元年度～ （2019年度～） | 工事着手 |
| 令和10年度 | 事業完了予定 |

取組状況（令和元年12月）

令和10年度の完成を目標に、事業用地の取得及び、鉄道高架化工事の設計に取り組んでいます。
 また、準備工事として、文化財調査や地下埋設物調査等に取り組んでいます。

【連立事業による効果】

- 1. 鉄道の高架化、幹線道路、環境側道の整備をすると。**
 ⇒安全で快適なまちの形成
 - ・踏切を除去することで交通渋滞が解消され、踏切事故もなくなります。
 - ・自動車や自転車、歩行者の流れがスムーズになります。
 - ・環境側道の整備により消防活動困難地域への緊急車両の到達がスムーズになります。
- 2. 鉄道の高架化及び駅前広場の整備をすると。**
 ⇒拠点整備による地域の活性化
 - ・鉄道による市街地の分断が解消され、まちの一体化を図ることにより、安全性・快適性の向上が図られ地域の活性化に貢献します。また、鉄道沿線の土地活用の促進が図れます。
 - ・高架下の効果的な活用により、地域の活性化を図ることができる。
 - ・駅前広場の整備により、交通結節機能の強化が図れます。
- 3. 鉄道の高架化と合わせて駅前広場の整備をすると。**
 （枚方公園駅、光善寺駅）
 ⇒良質な景観の形成と人にやさしい駅の形成
 - ・景観や地域性に配慮した駅舎や駅前広場の整備により、優れた街並み景観や安全で快適な駅を形成します。
 （エレベーターや誘導ブロック等を設置しバリアフリーに配慮した高架駅の整備）

